

# あした 未来へつなぐ

【地域貢献】

環境保全のために私たちができること。  
この北海道で地域と人のために私たちができること。  
JR北海道グループは、いま真摯に向き合います。  
「未来(あした)へつなぐ」ために。

文＝本間 吾里砂

## 人々が気軽に文化・芸術に親しめる 環境づくりを目指し、多彩な活動を展開！ 『一般財団法人 JR北海道文化財団』

### 昨

年十二月一日、北海道の文化・芸術分野の向上に寄与することを目的に『一般財団法人 JR北海道文化財団』が設立されました。同財団の活動の一つが、<sup>なまは</sup>苗穂工場内にある北海道鉄道技術館の管理・運営です。この施設はJR北海道の発足と同時に開館し、以来、鉄道に関する歴史的資料を一般に展示・公開しています。

明治四十三年に建てられたレンガ造りの建物は苗穂工場では最古のもので、昭和六十三年に「さっぽろ・ふるさと文化百選」、平成十六年に「北海道遺産・札幌苗穂地区の工場・記念館群」、さらに平成十九年には「近代化産業遺産」に認定されました。建物そのものが歴史的価値を持つだけに、施設の保護・保存も同財団の重



昭和62年4月にオープンした「北海道鉄道技術館」。レンガ造りの建物が造られたのはちょうど100年前



駒ヶ岳の噴火で地中に眠っていた巨石を現代に甦らせた大沼の彫刻公園「ストーンクレイジーの森」にある流政之氏制作の「もどり雲」(259.4×272.5×117.1cm)

要な役目。館内には北海道初の特急気動車「おおぞら」で使用していたキハ82特急気動車実物運転台や列車のエンジン模型、H0ゲージで運転体験できる281系振子列車などが展示され、夏にはわが国最大の蒸気機関車C62の姿を見ることがもできます。開館日は毎月第二・四土曜日の十三時半～十六時。毎回七十名ほどの人が来館するそうですが、秋の「鉄道の日」に行われるイベントには、苗穂工場全体で毎年七～八千人もの人が訪れます。

また、大沼にある彫刻公園「ストーンクレイジーの森」も同財団が管理・運営を担う施設。この公園は、JR北海道とともに同財団を立ち上げた彫刻家・流政之氏の監修によって平成十四年に開園されたもので、約一万平方メートルの敷地には流氏が制作した二十点もの彫刻が展示されています。付近には、温泉施設、パークゴルフ場、キャンプ場などもあり、近年は道南の新しいレジャーエリアとして注目を集めています。流氏の作品は、ニューヨーク近代美術館にも作品が収蔵されるなど、世界的な彫刻家が手がけた公園だけに、同財団では今後、その存在を広くアピールする活動にも取り組んでいきます。

これ以外にも、JR北海道の本社ビル内で開催されている「桑園・JRふれあいコンサート」、JR北海道が保有する約三百点の絵画の展示などの活動をおし、人々が気軽に文化・芸術に親しめる環境づくりを目指していきます。

①



キハ82特急気動車実物運転台